

## 令和5年度 亘理町いじめ問題再調査委員会

### 第11回委員会 会議録

- 開催日時 令和5年11月20日（月）午後2時30分
- 開催場所 宮城県自治会館 2階 207会議室
- 出席者  
長谷川啓三委員長、鎌田健司副委員長、川端壮康委員、神春美委員、佐々木央委員
- 説明のために出席した者  
齋総務課長、久保参事兼総務班長

#### 【公 開】

（久保）それでは改めましてお世話様でございます。定刻になりましたのでただいまから第11回亘理町いじめ問題再調査委員会を開会いたします。初めに長谷川委員長よりご挨拶を頂戴いたします。

（長谷川委員長）本日もまた委員の皆さんにはお忙しい中お集まりいただきました。この委員会の作業の量が決して少なくない時期になりまして、今日もまた積極的な議論をするためのものも委員には出していただいておりますので、しっかりと議論を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

（久保）ありがとうございます。ではここで本委員会の公開・非公開の確認をいたします。委員長から委員にお諮り頂ければと思います。

（長谷川委員長）今日はすでにこれまでのことで、委員の方々に書いていただいた文書に基づいて、少し中身に入った議論をすることになります。それで今この時点で非公開にすることも考えられますけどいかがでしょうか。私の今日の進め方の要は、鎌田委員に出していただいているものをまず…非常にあのうまくまとめていただいております。そうやって議論をすることから始めたいと思

ってますが、中身にかなり入れ込みますので非公開ということがいいかなと思いますがいかがでしょうか。

（佐々木委員）この前なんか報道で例の墨塗のオープンの問題がこちら出ていたようですが、この間の原因というか…今ちょっと聞こえてたんですけどご遺族と事務局の間に今なんかやり取りがあったみたいだし、ちょっと説明していただいた方がいいと思うんですが…。外側の話なので。

（長谷川委員長）あの墨塗の件で未だ報道が続いてますので、それについて議論をするというよりはなんかご説明があれば…。

（佐々木委員）事務局側の問題じゃなく、教育委員会の問題かもしれないんですけどご存じの範囲で…。

（齋総務課長）あのもちろん内容は全部こちらどもも分かってますけど、問題とこの墨塗の問題は別の話になってしまうので、事務局の方からは報告という形は控えさせていただきます。内部の…。

（佐々木委員）あのこちらからお願いして前にも報告いただけてますよね。あの文書もいただけてますけど。何人の方、どういうアクセスをして何人から説明してくれて言われて説明して、良としてもらったとかですねそういう話をちゃんと説明していただいているのでこの間のご遺族とのやり取りもちゃんと説明していただいて…。

（齋総務課長）それはこの委員会と必要ですか？

(佐々木委員) いや必要ですよ。何であなたが判断するんですか？私は必要だと思いますがいかがですか。

(長谷川委員長) どうですか？

(佐々木委員) 外で起こってることで、関係ないとは私は言えないと思いますけど。

(鎌田委員) あの無関係ではないんですけど、ただ我々の諮問を受けて審議することではないので、事務局からの報告はもちろん受けて述べるべき意見は述べた方がいいんですけど、我々の意見は前々回ぐらいに述べておりますので、なのでそれ以上に何かここに何か議論するってことは…。

(佐々木委員) 議論の必要ではなくて、私が申しあげてるのは、この間トラブルというかやり取りがあったみたいなので、それは私としては知っておきたい。委員会としてもその方たちが事務局やってるわけですから、やっぱり一緒にやってる仕事なので、ご遺族との関係をきちんと構築されてるのかどうかという信頼関係の問題でもあるので、ちょっと説明いただいた方がいいと思うんです。

(鎌田委員) 説明受けるのは構わないと思うんですけどただ…。

(佐々木委員) 意見いうとかそういう報告書に盛り込むとかって話ではないので…。

(鎌田委員) ただ事務局が説明することがないと言ってる中だとちょっと難しいかなと思うので。

(佐々木委員) 事務局は説明することがないということじゃなくて、我々の委員会の仕事ではないので説明する必要がないという、事務局として判断されてるわけだけど、その判断に対して私は再度ちゃんと説明してくれないかをお願いしているわけですよ。したいわけですよ。委員会として。いかがですかってこと。要らないっていうなら、皆さんの総意で要らないっていうなら…。

(神委員) いや、あの確かに墨塗の件新聞見た範囲でしか分からないんですけどやっぱりあれは委員会とご遺族なりなんだりの信頼関係だと思うんだよね。委員会だってあれまさか全部マスキング外した形で出ていくなんてことは想像してなかったでしょうから、だからこの場では単に事務局が説明、ああいう事があったけど今後こういう事は気を付けていくよと言ってくれればそれはそれで済むだろうと私は単純に思っています。それをあの墨塗が外に出たことで私たちが議論するのははっきり言って筋違いになるので、その点は必要ないと思っていますけどね。ただやっぱり我々も今後多分今日から今後終結というか取りまとめるまでほぼ非公開ですよ。かなり今度詰めてきますから、今まで見たいな公開っていうわけにはいかないんで文書の取り扱い、議事録の取り扱いもかなり慎重を要する部分になっていくと思うので、それは事務局もまああれはなんかのミスだったんでしょうから「今後気を付けます」という一言は、この委員会に対してもやっぱり気を付けていきますということはあるんじゃないと思いますけどね。

(長谷川委員長) ご発言のことでいかが？

(神委員) 今その墨塗の話だから。

(代理人) 墨塗の話ではなくて、今事務局と話していたことを皆さんに知っていただきたくて…。

(父親) 実はこの度墨塗の件、亶理町と色々やり取りしてて回答いただいたりしてるんですけど、ただし私もほんとに再調査の皆さんとはまるっきり線引きして別の事案だと思ってるんで、議論していただく必要等々はないと思ってますし要望しておりませんが、私が亶理町から一謝り再発防止に気を付けます気をつけますだけで、どうして墨塗が流れてしまったのかそういった原因だとかこういう経緯があって…ほらソフトのこの機能を使うのを忘れてしまって画像化しなかったからだとか、そういう細かいところいまだに報告受けてないんですね。で、私としましては、皆さん今の再調査委員会の委員の皆さんが議論を尽くしていただいた後にまた資料にしてもらうわけですよ。その資料にして貰う時に、ホームページに掲載する作業また出てくるわけですよ。その時にまた同じようなことが繰り返されないように、再調査委員会の皆さんをあて名にして要望書作成してきたんですね。ちょっとまだプリントアウトしてないので、ですので本日の議論、調査委員会終わりましたら書面で提出しますのでそれを中身で見えていただいて、何かしてくれこれしてくれってことは書いてませんが再発防止っていうことで、亶理町の方に提言お願いしたいなということであて名を再調査委員会の皆さんにも作成してきたので…。

(佐々木委員) 調査委員会が出た文書っていうのは出してるんですか？調査委員会もあて名になっている文書っていうのは出してるんですか？

(父親) いや、もっています。まだ出していません。本日…。

(代理人) お願いして断られたんだよね。

(父親) そうです。

(佐々木委員) じゃあ今出してくださいよ。

(代理人) 今コピーしてきます。

(父親) うん。プリントアウトしてきますので。ですので…。

(長谷川委員長) 出すのはあとでいいですから。会議終わってから。

(父親) 今事務局にもねダメですっていわれたので、いや私は結びつきとしてはそういう考えでの要望書を提出させていただきたいと…。

(佐々木委員) 事務局としてはどうしてカットするんですか？

(齋総務課長) カットっていうのは別に…。いや役場にいただく分には別に構わないですけどそれはもちろん。

(佐々木委員) でも委員会のあて名もついてるわけですよ。

(齋総務課長) 委員会？

(佐々木委員) ここの再調査委員会もあて名に入ってるわけですよ？

(齋総務課長) 先ほど町長と教育委員会って。

(父親) いや3つですよ。

(齋総務課長) 3つなんですか。3つあれば話は別ですけど…。

(父親) だからそういう風に私言ったんですよ。

(齋総務課長) 私その町長と教育委員会の段階で、今回のやつに話しますかっていうところで、これとあれは話は別ですよ。

(父親) これまでは別ですけど、この前の要望書に対する会見も…。

(鎌田委員) 後で出していただくようにして、ちょっと議論の時間をいただきたいので。

(長谷川委員長) 事務局としても手続き上の判断が難しいところがあると思いますので…わかりました。仰ることは。次の再発防止の1つとしては重要なことですから。ちょっとそれ僕らも議論、少し考えたいと思います。それじゃあここからは非公開にさせていただいて、中身の議論をさせていただきます。